

友遊結

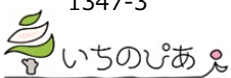
2021年
11月号

【発行】

.....
宍粟市一宮市民局
まちづくり推進課
生涯学習係
一宮生涯学習事務所
(いちのびあ内)

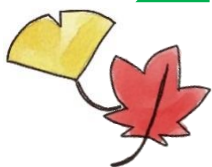
TEL 72-2330
FAX 72-1596

宍粟市一宮町安積
1347-3



いちのびあ
休館日

11月23日
勤労感謝の日



いちのみや社会大学いわみ学園 10月講座

10月21日(木)、いちのびあホールにて、昨年度から長らく延期になっていた神戸新聞文化部長兼論説委員である加藤正文さんに「足元を掘れ・そこに泉湧く 一兵庫・播磨からの発信」と題して、お話していただきました。

日本は海外に比べ、地方新聞が充実した国で、東京など主要都市からの視点だけでは分からない、地域の視点に立ったニュースを知ることができます。地方の過疎化が進み、都会へと人が流れていき、地方新聞の発行部数も減りつつあった中、突如コロナ禍になり、改めて地方の大切さが見直されるようになりました。



演題となった「足元を掘れ、そこに泉湧く」は哲学者のニーチェの言葉です。加藤さんは「足元を見ると、どうしても、日々の雑用や家族のこと、地域の問題など、面倒に感じてしまうことが目に入ってしまうけれど、そこを見つめ直せば泉があり、タカラがあることがきつと分かる。宍粟市でもできるのではないか」と最後に話されました。



第47回 いちのみや美術作品展

11月6、7日の2日間、いちのびあにて「第47回いちのみや美術作品展」を開催しました。

会場には書道や絵画、生け花に陶芸などの多彩な作品に加え、オリンピックの聖火トーチとパラリンピックのランタンの展示もありました。

来場者人数は
178人でした。

いわみ学園大学 11月講座

日にち 11月27日(土)
場所 いちのびあホール

※学習冊子と開始時間が変更になっています。

クラブ紹介
9:30~

各クラブの活動紹介や
作品展示を行います。

映画鑑賞会
10:00~

「徘徊 ~ママリン 87歳の夏~」

認知症の母(愛称ママリン)と娘の章子さんのひと夏を追ったドキュメンタリー映画。従来の認知症ドキュメンタリー映画のイメージを変える笑いがいっぱい映画です。



【開館時間】
 月曜～金曜：9時～19時
 土曜・日曜：9時～17時

【休館日】 11月23日（勤労感謝の日）
 11月30日（館内整理日）

新着図書紹介 新着図書の一部です。

書名	著者	件名
ブルース Red	桜木紫乃	小説
月曜日の抹茶カフェ	青山美智子	小説
さよならも言えないうちに	川口俊和	小説
熱風団地	大沢在昌	小説
とにもかくにもごはん	小野寺史宜	小説
ペッパーズ・ゴースト	伊坂幸太郎	小説
おんなのじかん	吉川トリコ	小説
アルテミスの涙	下村敦史	小説
子のない夫婦とネコ	群ようこ	小説
世界のピクト図鑑	児山啓一	社会
認知症が進まない話し方があった	吉田勝明	認知
学校に行きたくない」と子どもが言ったとき親ができること	石井志昂	教育
運がいい人の「話し方」、運が悪い人の「しゃべり方」	有川真由美	話し方
発酵暮らし	山田奈美	発酵

えほんのじかん

絵本の読み聞かせをします。親子でも参加OK！

【日時】
11月28日(日)
午前10時30分～11時
いちのぴあ1階 会議室1

申し込みはいりませんが、時間に遅れないようお越してください。

※マスクの着用をお願いします。

移動図書館 ～ささゆり号～

読みたい本があれば、事前にご連絡ください。

【11月の運行日】
11月20日(土)



【12月の運行日】
12月18日(土)

【11月】展示コーナー

テーマ

わくわく Art(アート)特集!

秋といえば「**芸術の秋**」
 本をめくって、
アートの旅へでかけよう！

- 『世界の美しい名建築の図鑑』
- 『世界のきらめくステンドグラス』
- 『日本の美術館めぐり』
- 『めくりめく現代アート』
- 『江戸のバロック』
- 『色彩の博物事典』
- 『風景画帖』 など

いちのぴあ図書室からのお願い

本・雑誌の取り扱いについて

- ・書き込み・ページ折りは絶対にしないでください。
- ・誤って汚したり、破損してしまったときはなるべく早く図書館までお持ちください。

図書館の資料は、市民の皆さんの貴重な財産です。
 ていねいに扱ってください。

